

愛顔の健康づくり通信 (No.3)

今回のテーマは 特定健診結果の推移



(発行: 愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課 Tel: 089-912-2401/E-mail: healthpro@pref.ehime.lg.jp)

愛媛県では「愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり事業」を実施しています。この事業では、国保及び協会けんぽ加入者の40～74歳の特定健診結果と医療に関するデータ等を分析しています。この度、事業を継続してきたことにより蓄積されたデータを活用し、経年変化の分析を開始しました。

今回は、特に問題の大きい肥満・メタボリックシンドローム・高血圧を中心に報告します。

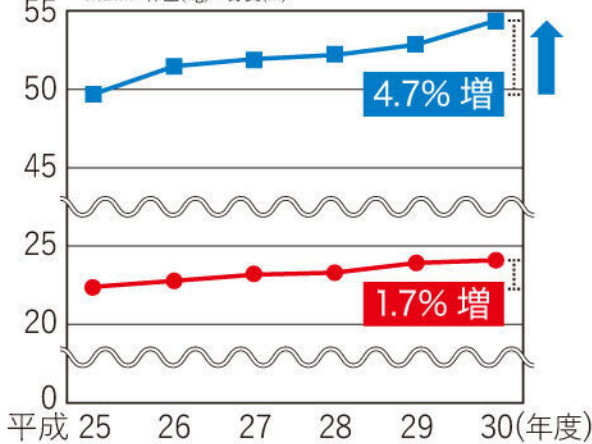


肥満・メタボは増加中!!

肥満の割合

(平成25年度～30年度: 国保)

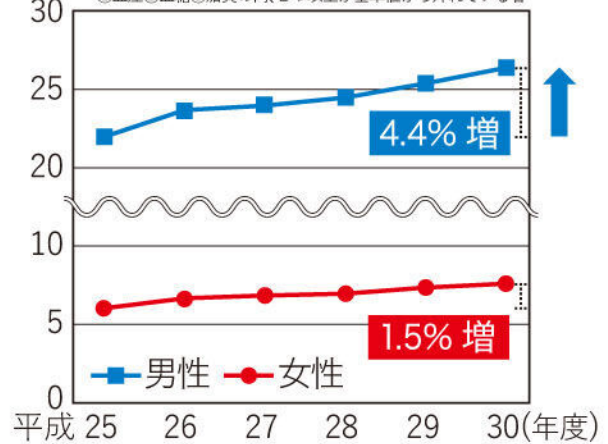
(%) 腹囲基準値(男性85cm/女性90cm)以上またはBMI25以上
※BMI=体重(kg)÷身長(m)²



メタボリックシンドロームの割合

(平成25年度～30年度: 国保)

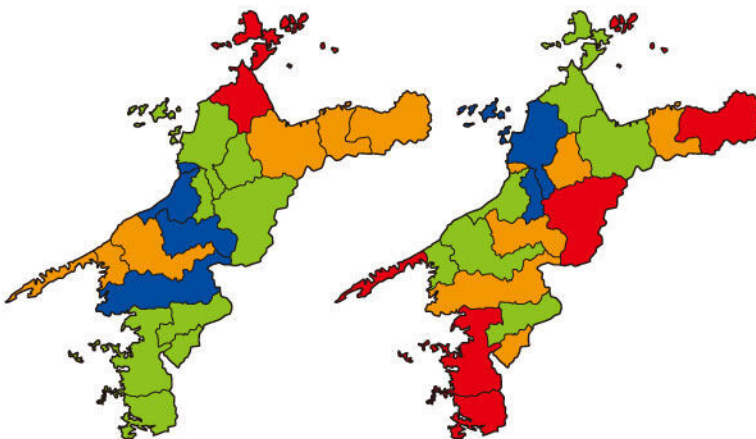
(%) 腹囲肥満(男性腹囲85cm以上/女性90cm以上)かつ
①血圧②血糖③脂質の内、2つ以上が基準値から外れている者



メタボリックシンドロームの分布 (令和元年度: 国保+協会けんぽ)

男性

女性



最新の市町別のメタボの分布はどうなっているか
みてみよう



年齢調整済※

- メタボの人が多い(≒有意に高い)
- メタボの人がやや多い(≒高いが有意でない)
- メタボの人がやや少ない(≒低い有意でない)
- メタボの人が少ない(≒有意に低い)

※凡例については、市町ごとの人口に対して、メタボの人が多し、又は少ないと表現しています。
※年齢調整とは、各市町を比較するため、県全体を基準に年齢構成の違いを補正したものです。

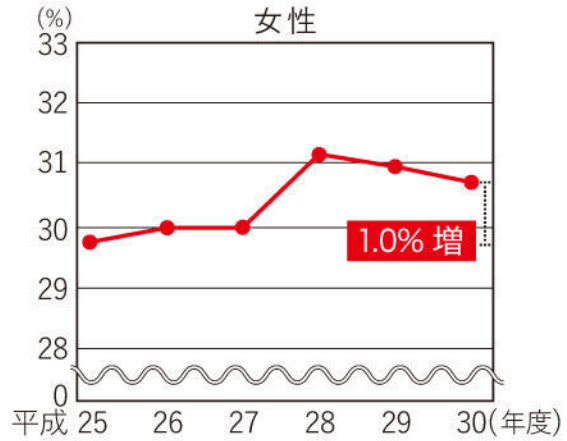
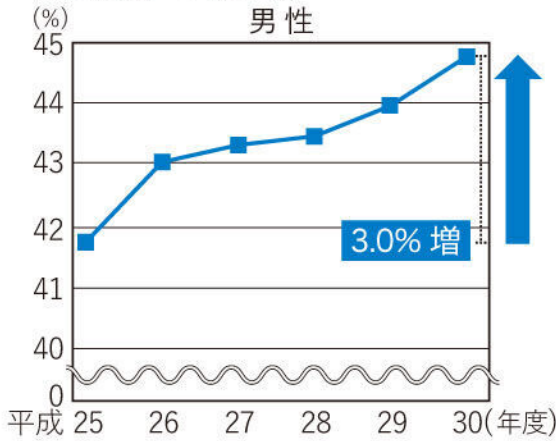
肥満・メタボリックシンドロームは、男性の増加率が特に高くなっています。さらに、メタボリックシンドロームを市町別でみると地域差もあり、男女でも違いがあるようです。

特に 高血圧は男性が増加傾向!

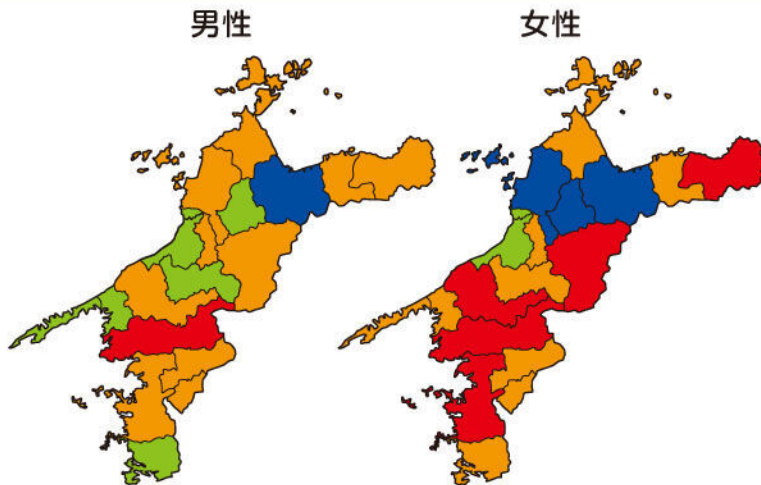
高血圧の割合

収縮期血圧140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上もしくは血圧を下げる薬を服用している者

(平成25年度～30年度：国保)



高血圧の分布 (令和元年度：国保+協会けんぽ)



最新の市町別の分布はどうなっているかみてみよう



年齢調整済※

- 高血圧の人が多い(≒有意に高い)
- 高血圧の人がやや多い(≒高いが有意でない)
- 高血圧の人がやや少ない(≒低いが有意でない)
- 高血圧の人が少ない(≒有意に低い)

※凡例については、市町ごとの人口に対して、高血圧の人が多い、又は少ないと表現しています。

※年齢調整とは、各市町を比較するため、県全体を基準に年齢構成の違いを補正したものです。

高血圧は、男性の増加率が高くなっています。さらに、高血圧を市町別で見ると地域差があります。特に女性の方が地域差が大きくなっているようです。

愛媛県高血圧重症化予防プログラムを策定しました

愛媛県では、健康課題である高血圧の解決のため、令和4年12月に「愛媛県高血圧重症化予防プログラム」を策定しました。

このプログラムは、特定健診を受診した人のうち高血圧症が重症化して循環器病を発症するリスクが高い人を適切に医療機関につなぐことと、高血圧症を治療中の人のうち必要な方にかかりつけ医と連携し医療保険者が保健指導を行うこと等で、適切な血圧管理を行い循環器病の発症を防止することを目的としています。

※循環器病とは主に脳卒中と心血管疾患のことをいいます。

血圧の適切な管理により、みなさんで健康寿命の延伸を目指しましょう!

血圧の正常値は 120/80 mmHg 未満です



高血圧は循環器病発症の最大の危険因子です

その他の循環器病発症のリスクは…



などがあります